

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY 名古屋 ちくさ

題字 伊藤昌石

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 名古屋東急ホテル
事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
会長 萩原 喜代子
幹事 渡邊 源 市
広報・会報委員長 池 森 由 幸

No. 20 ローターリーを实践し みんなに豊かな人生を

2013~2014年度 RI会長 ロン D. パートン

今日の例会

第1483回 平成25年12月10日(火)
講演: 言語習得と留学: 成功する学習者になるために
名古屋大学 国際開発研究科 三上 仁志様

先週の例会

第1482回 平成25年12月3日(火) 晴
講演: “ここまで進化した内視鏡による治療”
名古屋第二赤十字病院 消化器内科
副部長 内視鏡センター長 山田 智則様

- ◆君が代
- ◆それでこそロータリー
- ◆ゲスト紹介 名古屋第二赤十字病院 消化器内科
内視鏡センター長 山田 智則様

- ◆新入会員紹介 林 永芳 君 (親睦委員会)
(紹介 加藤 重雄君)



林君より宣誓書を読み上げ
その後 宣誓書にサイン
萩原会長より入会認証書
読み上げバッジと認証書手渡し

氏名 林 永芳 (はやし ながよし)
生年月日 昭和23年 3月 19日
住所 名古屋市天白区向が丘四丁目149番地
TEL 052-803-2760
事業所住所 名古屋市昭和区山手通り三丁目
13番地の1
TEL 052-832-0005
名称 株式会社 浜木綿
地位 代表取締役社長
職業分類 レストラン
推薦者 加藤 重雄

◆出席報告

会員 41 (37) 名 出席 31名
出席率 83. 78%
前々回 11 /23・24 (修正出席率) 100 %

渡邊幹事報告

- 1) 本日例会終了後、年次総会を開催致しますので皆様お残り下さい
- 2) 次週例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方々はご予定下さい
- 3) ローターリーの友12月号が届いております。お帰りにお持ち下さい
- 4) 12月のロータリーレートは先月と変わらず1ドル=100円です
- 5) 12月15日(日) 東山植物園で社会奉仕委員会事業として地区補助金プロジェクトを桜花学園 IAC の皆さんと一緒にいきます。ロータリアンの皆さまの大勢のご参加よろしくお願い致します

萩原会長挨拶



皆さま こんにちは!
本日は ステキなお医者さまをお迎えしております。
後ほど ご講演をお願いしております。
山田先生 どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
そして新しく当クラブにご入会頂きました林 永芳さま お待ち

申しておりました。
メンバー全員 心より歓迎申し上げます。

12月になりました。
早くもジングルベルの曲が流れ クリスマス・トゥリーをそこここで目に致します。
ところで皆さまは ヒイラギという木をご存じでしょうか?
日本では・・・
節分の夜 魔除けとして 玄関先に飾ります。
海外では

Holly Tree. 日本語に訳しますと「神聖な木」と呼ばれ キリスト誕生を祝う「飾り木」になり 希望の喜びをあらわすと いわれております。
もうすぐクリスマス! 皆さまの望みが かなえられますことを祈っております。
木の中には「神さま」の何とかと呼んで あがめられる

木が 結構あるように思います。
 たまたま 一昨日の日曜日の中日新聞朝刊を 読んでおりましたら「新宿の木」として ケヤキが紹介されておりました。
 我が家のちっぽけな庭に ケヤキが1本 鎮座ましましております。
 かれこれ40年経っております。植えた当初は 頼りないくらい細かったのですが 愛情もって大切に育てましたところ 今では威風堂々と我が家を守ってくれているのかな?・・・と思っております。
 お待たせいたしました。
 只今よりご講演を頂きたく存じます。山田先生よろしく お願い致します。

◆講演 “ここまで進化した内視鏡による治療”

名古屋第二赤十字病院 消化器内科

副部長 内視鏡センター長 山田 智則様



まずは、食道がん、胃がん、大腸がんについて。

最近、有名男性の方が食道がん に罹ったニュースを良く耳にしますが、食道がんは熟年男性に多く、お酒やタバコによる影響が強い“がん”です。特に若い頃はアルコールを飲むと顔が真っ赤になったのが、いまでは強くなって何ともないという方に、罹りやすいとも言われています。

食道は、肋骨、心臓や肺といった重要な臓器に囲まれているため、手術は大変難しいようです。

胃がんは、ヘリコバクターピロリ菌と強い相関関係があります。ピロリ菌が胃に長く共生することにより慢性胃炎を発症し、いずれ“がん”が発生する可能性があります。最近ではピロリ菌を退治して、胃がんの発症を抑えるのではないかとと言われて、保険が適応となりました。大腸がんは、ここ数十年で患者さんが数倍に増えている“がん”です。

各種検査について

通称バリウム検査は、食道や胃の検査であり、検診でよく行われています。しかし、非常に早期の“がん”を見つけるのは難しいとされています。

便潜血検査は、大腸がんの可能性のある方を調べる検査ですが、陽性と言われた方のうち約3%に大腸がんが見つかっています。20-30%の方はポリープを指摘されており、その他多くは異常ないとされるようです。しかし、大腸がんの方の2割ほどは便潜血検査で陽性とならない事が知られており、注意が必要です。

内視鏡検査は潰瘍やがんを診断するのに最も詳しい検査ですが、検査が苦しいのが難点です。鼻からの内視鏡も開発され、患者さんにとって優しい検査になりつつあります。当院では画質重視のため口からの内視鏡検査が主流です。

その他、CT スキャンやPET-CTなどは“がん”の広がり を詳しく調べるには有用な検査です。特に PET-CT は一回の検査でほぼ全身を検査する事が出来、さらには小さ

な“がん”を見つける事でドック検査において注目されています。但し、脳や胃、膀胱など検査能力が弱い臓器があります。

以上の検査によって、“がん”の状態を把握し病期(いわゆるステージ)を決定します。決定された病期に従って、内視鏡治療や手術、抗がん剤治療を検討しています。

次に治療について

胃カメラは“がん”を見つけるための道具と思われがちですが、医療の進歩により“がん”を治療をする道具に発展しています。治療となる“がん”の対象は早期のものに限られていますが、手術でお腹を切らないし、胃の機能もそのまま保たれるという点において、患者さんにとって非常に負担の少ない治療です。

その中でも“ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)”という治療法は、胃、大腸の早期がんを治療する最も良い方法で、2006年に胃、2008年に食道、2012年に大腸において保険が適応されました。当院でのESD治療は、基本8日間の入院としています。治療件数は年々増加の一途でして、昨年は食道、胃、大腸あわせて200件弱の腫瘍をESDによって治療しました。

もし、かかりつけ医の内視鏡検査で早期胃がんと診断されましたら、まずESD治療が可能かどうか判断するためにも名古屋第二赤十字病院 消化器内科に受診して頂く事をお勧めします。

年次総会
 2014-2015年度
 理事役員

会 長	加 藤 重 雄
副 会 長	渡 邊 源 市
会長エレクト	樫 尾 富 二
幹 事	小 林 英 毅
S A A	谷 口 優
会 計	竹 内 克 豊

クラブ奉仕	三 好 親
親 睦	太 田 和 孝
会場運営(副SAA)	近 藤 和 幸
職業奉仕	足 立 一 郎
社会奉仕	吉 田 玄 玄
青少年	舍 人 経 昭
国際奉仕	佐久間 良 治
副 幹 事	大 谷 恩
直前会長	萩 原 喜代子
直前幹事	渡 邊 源 市

1、次年度理事役員選任の件

会員の挙手により承認されました

※ニコボックスは次回掲載させて頂きます

次回例会：平成25年12月17日(火) 4階 雅の間
 年末会員家族懇親会 午後6時